

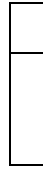
新築電気設備工事

屋内配

計画書

平

日



<https://www.sekouya.com>

株式会社

現場代理人

監理技術者

ケーブルラック	ZM 形	(株) 製造
絶縁電線	EM-IE	(株) 製造
ケーブル	EM-EE、EM-CE EM-CET、EM-FPC	(株) 製造
	EM-HP EM-AE	(株) 製造
		(株)製造
		(株) 製造
防火区画貫通処理材		〇〇〇(株)製造

(2) 機材の識別方法

製品及び包装の表示による

(3) 保管方法

- ・ケーブルラックは、資材
- ・電線及びケーブルは、資

いて保管し、ビニルシートで養生する。
保管する。

b. 機材の検査

(1) 機材の搬入ごとに、受入
を行う。

認、新品の確認、外観確認、数量確認)

(2) その後、監理者に機材搬

査を受ける。

<https://www.sekouya.com>

5) 施工要領

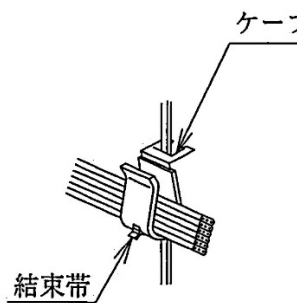
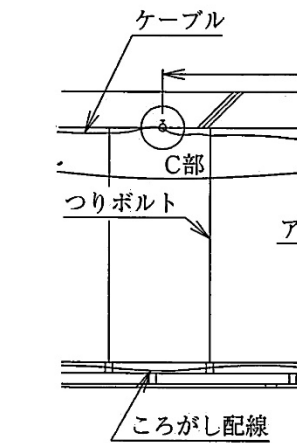
a. 二重天井内ケーブル配線・保護管

(1) 保護管の敷設

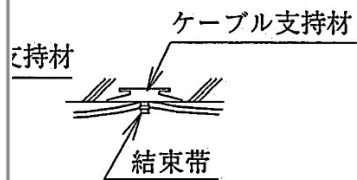
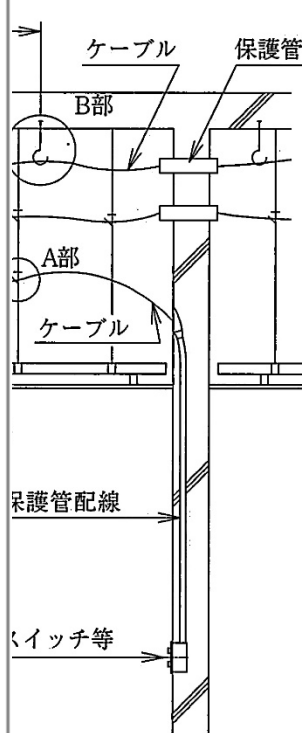
- ・ケーブルが壁等を貫通する場合は、PF管で保護する。

(2) ケーブルの敷設

- ・ケーブルは、ケーブル支持材（**製**）を用いて、2m以下に支持する。
- ・先行配線が他設備の配線と干渉しないように、予めルートの取合いを行う。
- ・点検口上部にケーブルを



A部詳細図



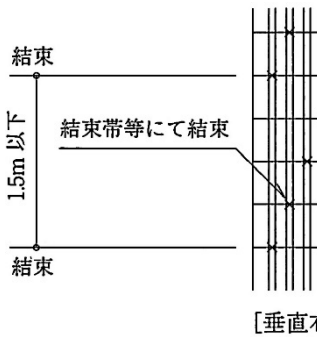
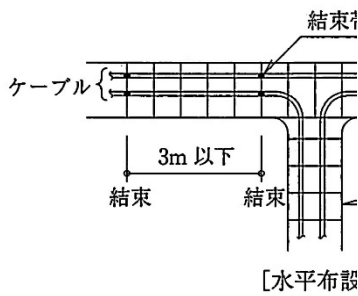
B部詳細図

C部詳細図

二重天井内配線方法

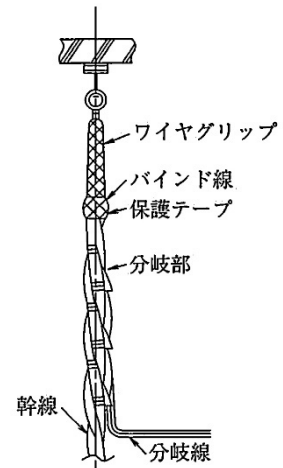
(2) ケーブルの敷設

- ・ケーブル重量により、最上部でワイヤーグリップ又はプーリングアイにて吊りを考慮する。
- ・垂直ケーブルラックへのケーブルの支持は、1.5m 以下の阻隔で固定し、同一の桁に集中させない。
- ・水平ケーブルラックへのケーブルの支持は、1.5m 以下の阻隔で固定し、同一の桁に集中させない。

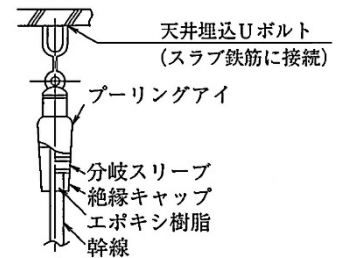


https://www.sekouya.com

ワイヤーグリップ詳細図 [例]



プーリングアイ詳細図 [例]



方法

曲げ半径は次のとおりとする。

(3) 光ファイバーケーブルの敷設

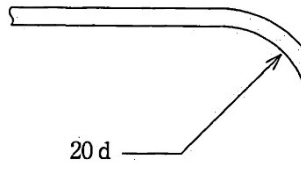
- ・光ファイバケーブルの敷設

	曲げ半径
ケーブル敷設時	ケーブル外径の 20 倍以上
ケーブル固定時	ケーブル外径の 10 倍以上

〔光ファイバケーブル敷設時〕

d = ケーブル外径

R = d × 20 倍以上

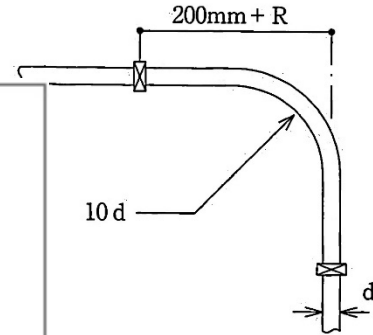


光

〔光ファイバケーブル固定時〕

d = ケーブル外径

R = d × 10 倍以上



半径

c . 電線・ケーブルの接続

(1) 電線の端子接続 (電力)

- ・ 端子部及び圧着端子に
- ・ 端子部、ボルト、ナット
- ・ 締結後は、ボルト、ナット
- ・ いか、隙間がないか等
- ・ チェックリストを使用し
- ・ 盤内に確認シールを貼
- ・ 規定トルクで締付け及

- ・ を確認する。
- ・ 付着がないことを確認する。
- ・ 付け状態を確認する (斜めに入っていない
- ・ 確認忘れを防止する。
- ・ 確認後に実施者が署名する。
- ・ を行う。

締付け確認マ

リングワッシャー

付けマーキング

シャー

ット

約

<https://www.sekouya.com>



締付け確認マーキング方法

(2) 締付けトルク値は以下とする。

- ・配線用遮断器 (MCCB)、電磁接触器 (Mg) の場合

サイズ	管理値 [単位 : N · m]
M5	2.8 (29)
M6	4.0 (41)
M8	15)
M10	00)
M12	35)

(注) 管理値の単位は kgf · cm

- ・端子台の場合

サイズ	管理値 [単位 : N · m]
M5	3)
M6	1)
M8	.5)
M10	95)
M12	10)

(注) 管理値の単位は kgf · cm

(3) 電線の端子接続 (通信・

- ・使用する配線の心線は、
- ・端子板への接続は、端子板の心線に合わせる。
- ・端子板の接続先に示す向きに合わせる。
- ・専用工具で接続の際は、専用工具の先端がするまで押し込む。
- ・押し込み後は、モジュールの端子板にしっかりと押し込まれていることと心線に傷がないことを確認する。



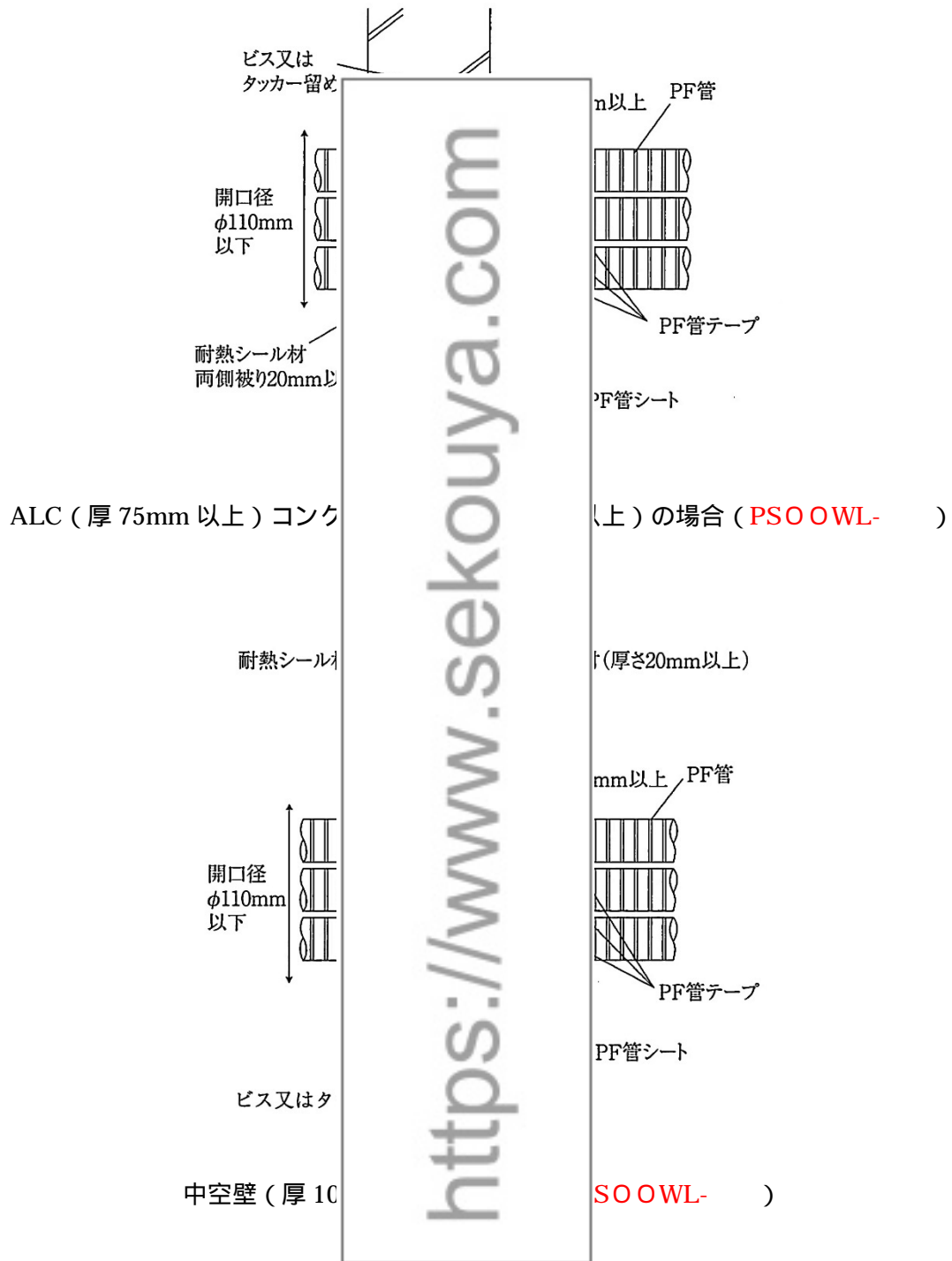
専用工具 (製)

接続時の押し込み

d . 防火区画貫通処理

(1) P F 管の防火区画貫通処理 (1 時間耐火)

- ・ P F 管及びケーブル直の場合



・使用する耐火材は、開口部の占有率を算出して次の表より選定する。

適用場所（貫通物）	種類	占有率	国土交通大臣認定番号	メーカー名
壁（PF管のみ）	中空壁	51.3%	PS WL-	(株)
	ALC・コンクリート	51.3%	PS WL-	(株)
壁（ケーブル直、PF管混合可）	中空壁	26.3%	PS WL-	(株)
			PS WL-	(株)
	ALC・コン		PS WL-	(株)
			PS WL-	(株)
			PS WL-	(株)
	強化石膏ボ		PS WL-	(株)
			PS WL-	(株)
準耐火構造		PS WL-	(株)	

(2) ケーブルラックの防火区
 ・耐火ブロック工法で施



認定番号

耐火ブロック

耐火ブロック
 編製スリーブ



防火区画床
 ラック

(株製)

・耐火ブロックが脱落した
 ることを確認する。

ことがないように、十分に充填されてい

<https://www.sekouya.com>

・認定条件 (PSO OFL - OO) を次に示す。

1) 最大開口面積	0.75m ²
2) 最大ケーブル占積率	31.3%
3) 最大ケーブルサイズ	6,600V 325mm ²
4) 合成樹脂製可とう電線管	1 段まで敷設可 (呼び径 42 以下)
5) 床の構造	ート厚さ 100mm 以上 (中空床除く)
6) 支持鋼板	以上

e . 耐震支持

(1) 設置条件

・耐震安全性の分類	般の施設
・水平震度最上階 (5 階)	1.5
2 階	1.0
1 階	0.6
・耐震支持 A 種	

(2) 支持材

- ・標準図「電力 35」の A
- ・材料は、「建築設備耐震

年版) により算出して、施工図に記載す

6) 品質管理

a . 管理体制

・品質管理責任者	監理技術	
・品質確認者	主任技術	電気工事(株)

b . 管理方法

- ・監理技術者は、事前に主任技
- ・作業前に、主任技術者が作業
- る場合は、併せて説明する。
- ・施工中は、作業員による施

明する。

る。製品に添付されている施工要領があ

- ・一工程が修了したら、主任技術者が「電気設備の施工管理」(平成 29 年版)の施工管理表の「管理値・管理基準」の品質を確保しているかを確認する。

- ・上記確認後、監理技術者と主任技術者で施工状況を「品質管理チェックシート」(別添 1)により確認する。

受注者が作成しているチェックシートを添付する。

https://www.sekouya.com

7) 工事写真

a. 撮影者

- ・撮影は、工事担当者が行う。

b. 撮影箇所

- ・材料搬入時は、材料、規格が分かるように撮影する。
- ・一連の作業工程が分かるように撮影する。
- ・打込配管、隠ぺい配管は、隠ぺい前、隠ぺい後、それぞれ撮影する。
- ・撮影する箇所は、「管継工事

。

8年版)による(別添2)。

受注者が作成した資料を添付し、工事写真撮影要領を満していることを記載する。

工事写真撮影要領を満していることを

<https://www.sekouya.com>